～「道の駅さくらの郷」～

がんばれ受験生！

合格餅で“もち”ろん合格

「道の駅さくらの郷」では、地元で生産された餅米(コガネモチ)を使用した「合格餅」を、毎年、小浜中学校と岩代中学校の３年生に贈って、受験生を応援しています。

「合格餅」は、３月中旬まで販売しています。

豊かなむらづくり顕彰受賞

地域の交流人口の拡大へ

魅力ある農山漁村づくりに励む県内の営農団体をたたえる「豊かなむらづくり顕彰」のむらづくり部門を受賞した「道の駅さくらの郷」を運営する企業組合さくらの郷の代表者が、１月18日、市役所を訪れ、受賞を報告しました。

さくらの郷は、地域の女性農業者有志による直売所から活動がスタートし、今では、農家の所得向上や交流人口拡大に貢献しています。こうした取り組みが評価されての受賞となりました。

無病息災を願って

市内各地で「だんごさし」

１月15日、学校法人まゆみ学園の皆さんが「だんごさし」を持って市役所を訪れてくれました。

「だんごさし」は、小正月(1月15日)にだんごなどをミズキの木に飾る伝統行事で、五穀豊穣や無病息災などを願って行われます。

献血は不要不急の外出には当たりません！

献血にご協力を

福島県赤十字血液センターでは、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、安定して血液の確保ができるよう、献血バスや献血ルームでの献血のご協力を呼び掛けています。

【献血ルーム】
献血前後に飲食いただけるよう、飲み物、お菓子が用意されています。また、各ベッドにはテレビを備え付けています。

・福島県赤十字血液センター
福島市永井川字北原田17
☎024(544)2550

・郡山駅前献血ルーム
郡山市駅前一丁目６番10号
ダイワロイネットホテル郡山駅前３階
☎024(925)2638

【献血バス】
市内の献血予定は、広報にほんまつの「暮らしの情報」のページに掲載しています。

また、その他の献血バスの運行スケジュールについては、右記のＱＲコードからご確認いただけます。

献血バス運行スケジュールQRコード

市内小学生が和紙漉き
卒業証書を自分たちの手作りで

　杉田小学校６年の児童が自分たちの卒業証書の台紙を作るため、二本松市和紙伝承館で和紙漉(す)きを行いました。毎年市内の小中学校数校が、上川崎地区に古くから伝わる和紙を自分たちの手で漉き、自分たちだけの卒業証書を作っています。水がきれいで繊維に不純物が入りにくいなどの理由から、寒い季節に漉くことが多い和紙。児童は冷たい水に手を入れながら真剣な表情で作業をし、和紙を完成させていました。
　和紙伝承館は道の駅「安達」上り線にあり、和紙製品を販売しているほか、どなたでも紙漉きの体験をすることができます。

いきいき百歳体操 ～どこでもできる介護予防～
３つの柱で「フレイル」予防

　「フレイル」とは、加齢によって筋力や活動が低下している状態のことで、健康な状態と介護が必要な状態の間にある状態です。フレイルは、食事や口腔(こうくう)ケア、運動、社会参加などにより予防をすることができます。
　この日は、塩沢地区第二あだたらクラブの皆さんが百歳体操を行いました。週に１～２回の運動で筋力がつき、数カ月後には、転倒しにくい身体に変身していきます。

冬を華やかに！
フラワーアレンジメント講座

　二本松地区女性セミナーでは、１月21日、講師に安藤美保子先生を招いて、フラワーアレンジメント教室が開催されました。参加された皆さんは、美しい花々を綺麗に飾りつけていました。各公民館では、楽しい講座をたくさん開催しています。ぜひご参加ください。

新型コロナウイルスの早期終息を願う
妖怪「アマビエ」の力を借りて

　１月21日、有限会社共伸工芸の武藤幸次代表取締役が市役所東和支所を訪れ、新型コロナウイルスの早期終息を願って、妖怪「アマビエ」のペアの置き物を寄贈いただきました。いただいた「アマビエ」のペアは、東和支所、東和文化センター、東和地域の各住民センターに飾られています。